

小規模多機能型居宅介護まこと

運営推進会議

令和4年7月20日（水）

14時～14時30分

小規模多機能型居宅介護まこと

司会・書記 吉田

1 挨拶

2 事業運営報告

- ・5月・6月のサービス利用状況
- ・まことでのサービス内容、行事等
- ・利用者ご家族様からの声
- ・5月・6月の事故報告について
- ・地域包括支援センター様・居宅支援事業所様からの声
- ・意見交流

3 意見交流

4 その他

- ・小規模多機能より
- ・今後の活動等

2 事業運営報告

■ 5～6月の介護度別サービス利用状況

(5月31日・6月30日付)

要介護	5月 小規模	6月 小規模	月 グループホーム	月 グループホーム
要支援1	3名	3名		
要支援2	0名	0名		
要介護1	7名	7名		
要介護2	7名	5名		
要介護3	3名	2名		
要介護4	1名	3名		
要介護5	2名	2名		
計	23名	22名	名	名

※介護保険更新にて、2名が変更になりました。(6月実績分)

(要介護2→要介護4) (要介護3→要介護4)

■ 小規模まことでのサービス内容・行事等

- ・5月 6日(金) 鯉のぼり作り
- ・5月 10日(火)～23日(月) お花見ドライブ
- ・5月 31日(火) 昇憲のラーメンを食べよう→餃子作りに変更
(昇憲様の都合が悪くなり、来れなくなってしまいました)
(餃子作りへと内容を変更し、皆さんと一緒に作りました)
- ・6月 3日(金) 壁画作り
- ・6月 13日(月) カップケーキ作り
- ・6月 21日(火) まこと運動会

■ 利用者ご家族からの声

小規模まこと

- * 一人で生活することが難しいなら、施設を探さないといけないですよね…。どんなところがあるかわからないので探してもらえませんか？それまで、まことさんでお世話になることはできませんか？(O.T様 ご家族様より)

※今まで一人で生活してきましたが、食事作りや病院受診など不安に感じるが多くなり、一人での生活に限界を感じ、入所できる施設を探すこととなりました。それまで、まことで生活してもらうこととなり、以降はご本人様からの【不安だ】という言葉は聞かれず、落ち着いて過ごされています。

- * 今まで色々ご迷惑をおかけしました。お世話になりました。(S.K様 ご家族様より)
 ※アシストリビングホームに3年近く入居されていた方ですが、「自宅に帰りたい」という本人の強い希望もあり、自宅に帰ることとなりました。現在は他事業所の介護サービスを利用しながら生活しています。先日、たまたまスーパーでご本人様と遭遇し、元気な姿で安心しました。

■ 5月6月の事故報告について

	小規模 5月	小規模 6月	G H 月	G H 月
アクシデント	1件	0件	件	件
インシデント	2件	3件	件	件
ヒヤリハット	1件	2件	件	件

【小規模まこと】

- 5月 アクシデント1件～(内服薬の重複) ※5/31に市に報告済
 インシデント2件～(テープ剥がし忘れ)(薬を捨てる)
 ヒヤリハット1件～(公園にて自転車通行者のチェーンが車椅子ブレーキに引っかかる)
- 6月 インシデント3件～(荷物返却忘れ)(内玄関扉に衝突)(再測定せずに入浴)
 ヒヤリハット2件～(ベッドからずり落ちそうになる)(空気清浄機に接触)

■ 地域包括支援センター様・居宅支援事業所様からの声

書面開催のため、意見はいただいております。

3 意見交流

通いと訪問を組み合わせながら、一人での生活を続けている認知症の女性利用者様のお話です。

利用当初は、ご本人様の気が進まなかったこともあり、週1～2回程度の通いのみでした。通いをお休みした時には、自宅へと訪問し血圧測定など行っていましたが、とくに病院にもかかっていなかったため血圧が高く経過していました。ご本人様自身は、身体の不調は全く感じずに過ごしていましたが、一人暮らしのこともあり心配なため内科受診を勧めました。初めはご自身で病院へと通っていましたが、薬をきちんと飲めていないことが段々と分かってきました。薬の管理が出来るよう、自宅に薬カレン

ダーを置き 1 週間分の薬をセットして、飲んでもらうよう毎日電話をかけ薬を飲んだかの確認をするようにしました。ですが日にちを間違える・飲み忘れる・カレンダーから出さず袋に入っている方を飲んでしまうという状況が続き、薬は事業所で管理させていただくことに変え、薬局にも日付を印字してもらうようお願いしました。

病院受診も、耳が遠く先生からの話もきちんと聞けず覚えられないこともあり、有料ヘルパーを利用するようになりました。薬がきちんと飲めるようにと通いの日数を週 4 回へと増やしましたが、それでも薬の飲み忘れは変わらず…。また、休みの次の日に迎えに行くと、薬は残っているものの、ご本人様からは「飲んだよ！」との言葉もあり、いつの薬を飲んだか把握出来なくなっていました（たまに、何ヶ月も前の薬を飲んでいたり、どこから出てきたのか…）。

認知症・糖尿病・便秘の薬と大事な薬なため、通いで来ている日には確実に飲めるように週 4 回の通いの日にはまことでの服薬、休みの前の日に訪問して 1 日分の薬をカレンダーにセット、休みの日に電話で飲んだかの確認を訪問という形で、毎日支援しています。また、一人暮らしのため通いの帰宅時にコンビニへと寄り買物同行、冷蔵庫の中や火の元の確認など行い、なんとか在宅での生活を続けています。

ご本人は「ここに入ったら幾らするの？」と何度か聞いてきますが、お泊まりや 2 階のアシストリビングホームへの入居を勧めると「家の方が落ち着くから」と、慣れた自宅を選択されます。私たちは、そろそろ在宅は限界ではないかと感じていますが、ご本人様が納得されないうちはまだ難しいのかなと感じています。自宅で生活したいという本人の気持ちも理解しつつ、支援していきたいと思います。

4 その他

・今後の活動について

(小規模多機能)

- 7月 5日(火) 七夕のフルーツポンチ作り
- 7月 13日(水) ペットボトルで風鈴を作ろう
- 7月 21日(木) バニラアイス作り
- 8月 4日(木) 焼きそば&花火大会
- 8月 10日(水) ひまわりの置き飾り作り
- 8月 29日(月) プリンアラモード作り

次回開催予定日 令和 4 年 9 月 21 日 (水) 14 時 小規模まこと 2 階リビングにて開催